

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【公表番号】特表2017-512398(P2017-512398A)

【公表日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2016-550835(P2016-550835)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 06 T 7/60 (2017.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

G 06 T 7/60 150 P

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

映像を提示する方法であって、

前記映像の推定された動きから、トランスレーションに基づくパラメータを抽出するステップと、

前記トランスレーションに基づくパラメータに従って、垂直トランスレーションの時間にわたる展開に対する水平トランスレーションの時間にわたる展開を与える少なくとも1つの特徴を計算するステップと、

前記少なくとも1つの特徴の関数として決定された向きにおいて前記映像を提示するステップと

を有する方法。

【請求項2】

前記映像の前記推定された動きから、回転に基づくパラメータを抽出するステップと、

前記回転に基づくパラメータに従って検出された回転によって分けられる少なくとも1つのセグメントに前記映像を分割するステップと、

前記少なくとも1つのセグメントの夫々にわたる前記少なくとも1つの特徴の積分の関数として前記映像の向きを決定するステップと

を更に有する請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記推定は、前記映像のドミナント・モーションを推定することを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記決定された向きは、前記映像のフレームごとに横向き及び縦向きを有する、

請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記推定は、前記映像の動きのパラメトリック近似を各瞬間ににおいて計算することを含む、

請求項1に記載の方法。

【請求項 6】

前記分割するステップは、前記抽出された回転に基づくパラメータの閾値化を含む、
請求項 2 に記載の方法。

【請求項 7】

前記決定は、セグメントごとに前記少なくとも 1 つの特徴の 1 つの代表単一値を得るよう当該セグメントの全フレームについて前記少なくとも 1 つの特徴を積分することによって、回転の前及び後で各セグメントの向きを計算することを含む、

請求項 2 に記載の方法。

【請求項 8】

スライディング・タイム・ウィンドウにわたって前記少なくとも 1 つの特徴を平滑化するステップ

を更に有する請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記回転に基づくパラメータの回転角度に従って前記決定された結果から前記映像の向きを決定するステップ

を更に有する請求項 2 に記載の方法。

【請求項 10】

前記回転角度は、前記回転に基づくパラメータのサイナスに従って決定される、
請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記決定された向きは、前記映像のフレームごとに 0°、90°、-90° 及び 180° の向きを有する、

請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

映像を提示する装置であって、

前記映像の推定された動きから、トランスレーションに基づくパラメータを抽出し、

前記トランスレーションに基づくパラメータに従って、垂直トランスレーションの時間にわたる展開に対する水平トランスレーションの時間にわたる展開を与える少なくとも 1 つの特徴を計算し、

前記少なくとも 1 つの特徴の関数として決定された向きにおいて前記映像を提示する
よう構成されるプロセッサを有する
装置。

【請求項 13】

通信ネットワークからダウンロード可能であり、及び / 又はコンピュータによって読み出しが可能な媒体において記録されており、及び / 又はプロセッサによって実行可能であるコンピュータプログラムであって、

請求項 1 乃至 11 のうちのいずれか一項に記載される方法のステップを実施するプログラムコード命令を有する

コンピュータプログラム。

【請求項 14】

プロセッサによって実行されることが可能であって、請求項 1 乃至 11 のうちのいずれか一項に記載される方法のステップを実施するプログラムコード命令を含むコンピュータプログラムが記録されている

非一時的なコンピュータ可読媒体。